

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 びっころ16			
○保護者評価実施期間	令和8年3月9日		～	令和8年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9家庭	(回答者数)	6家庭
○従業者評価実施期間	令和8年3月9日		～	令和8年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月20日			

方針
結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本人の生活年齢や学校生活を踏まえ、実生活につながる支援を意識している。	学校・家庭・事業所それぞれの様子を整理し、生活、学習、対人関係、余暇などを一つの場面だけで判断しないようにしている。	本人が自分で選択・判断する機会を支援の中に取り入れ、自己決定につながる経験を増やす。
2	集団活動の中でも、個々の理解度や参加のペースに応じて支援方法を調整している。	共通のルールを大切にしながら、説明方法、役割、課題の難易度等を調整し、本人が参加しやすい条件を整えている。	本人が困った時に伝える、助けを求めるなど、学校や地域生活でも活用できる力につながる支援を意識する。
3	支援後の気付きを共有し、次の関わり方の見直しにつなげている。	本人の反応だけでなく、職員の声掛けや環境設定がどう影響したかも振り返り、対応のばらつきを減らすようにしている。	記録と個別支援計画のつながりをより明確にし、支援方法を変更した理由や経過を職員間で追いややすくする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援記録の視点に職員差があり、個別支援計画の目標とのつながりが読み取りにくい場合がある。	本人の様子は記録されていても、支援者の働き掛けとその後の反応までの記載量に差がある。	「目標・支援・反応」のつながりを意識して記録し、次の支援方法を検討できる情報を残す。
2	家族支援や保護者同士の交流について、保護者から見て取組が分かりにくい項目がある。	日常的な相談対応を行っていても、それが家族支援としてどのような意図を持つのか十分伝わっていない可能性がある。	家庭で取り入れやすい具体的な関わり方を伝え、必要に応じて家族支援に関する情報提供の方法を見直す。
3	安全面の取組は行っているが、保護者への周知が十分伝わっていない場合がある。	訓練や安全管理の内容は、日常の活動と比べて保護者が知る機会が限られやすい。	訓練や安全計画の要点を分かりやすく伝え、家庭と共有すべき事項を整理する。

[illegible]

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所 ひっころ16

公表日 令和8年3月24日

利用児童数 9家庭

回収数 6家庭

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	0	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	1	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	1	3	地域の子どもの交流について、どのような機会があるのか分かりません。	交流の実施自体を目的とせず、本人の希望や支援上の必要性を踏まえ、必要な連携や機会を検討します。
保護 者へ の説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	0	3	家庭での関わり方について、具体的な例を聞けると助かります。	事業所で有効だった声掛けや関わり方を、家庭でも取り入れやすい形でお伝えできるよう努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	2	3	保護者同士で交流する機会は少ないと感じます。	保護者のニーズを確認しながら、情報提供を含めた家族支援の方法を検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	1	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	1		
非常 時等 の対 応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1	0	3	避難訓練など安全面の取組を、もう少し詳しく知りたいです。	訓練や安全計画の内容について、保護者にも分かりやすく伝えられるよう周知方法を工夫します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	2		
満足 度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	2		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0		